

Vol.103

Vol.103 (2025年 夏号)

PMI 日本支部 ニュースレター

Best Practice and Competence / PM 事例・知識 ... 3

Stakeholders / 法人スポンサー紹介 16

PM Calendar / PM カレンダー 21

Fact Database / データベース 22

Best Practice and Competence / PM 事例・知識

- ◆中部ブランチ創立10周年記念セミナー 結果報告 3
PMI日本支部 理事 奥田 智洋
- ◆PMI日本フォーラム2025のご案内 8
- ◆次世代リーダーシップミーティング2025 開催結果報告 13
PMコミュニティ活性化委員会 池之上 誠司

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

- ・株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック 16
- ・株式会社ワールドフェイマス 18

PM Calendar / PMカレンダー 21

- ・PMI日本支部関連セミナー等

Fact Database / データベース 22

PMI日本支部ニュースレター Vol.103 2025年6月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局

〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階

E-mail：info@pmi-japan.org

ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

◆商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。

「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Office の商標又は登録商標です。

Best Practice and Competence/ PM 事例・知識

中部ブランチャ創立 10 周年記念セミナー 結果報告

PMI 日本支部 理事 奥田 智洋

開催日時：6月6日(金) 13:00～17:50

開催場所：国立大学法人 東海国立大学機構

Tokai Open Innovation Complex (TOIC) 名古屋
サイト

※国立大学法人 名古屋大学 東山キャンパス内

テーマ：次世代プロジェクトに向けた中部からの熱い想い

セミナー内容：3 講演 + 中部ブランチャ活動紹介

〈講演1〉有人宇宙システム「きぼう」開発とプロジェクト
を成功させるために

～創発から開発、実践、社会実装へ～

名古屋大学 非常勤講師 田中秀孝様

〈講演2〉愛知発のイノベーション創出に向けた取り組み

愛知県経済産業局

革新事業創造部イノベーション企画課

廣江紀之様

〈講演3〉自律したITベンチャーの創造

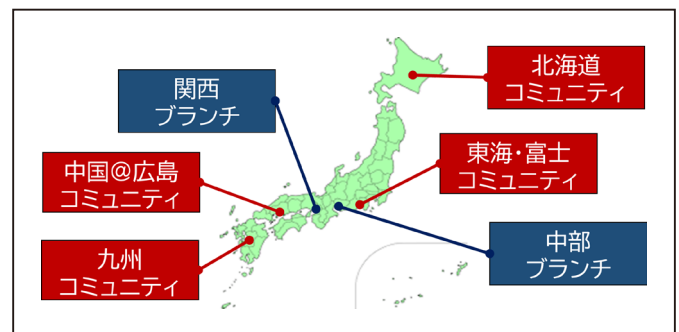
～ITベンチャー創業者として伝えたいこと～

株式会社アイ・ティ・イノベーション

代表取締役社長

林衛様

PMI 日本支部の主な地域活動（ブランチャ、コミュニティ）



このような活動の中で中部ブランチャは関西ブランチャに次ぐブランチャ活動として2015年11月に発足しました。ブランチャ内の活動も、中部ブランチャ運営委員会、PMサロン、地域ソーシャルマネジメント研究会（LSM研究会）の3つの部会から成り立っています。

それぞれの部会の活動を簡単にご紹介します。

＜中部ブランチャ運営委員会＞

ブランチャ内の部会のリーダーやメンバーが月1回の頻度で対面、またはオンライン会議で集まり、ブランチャの方針決めやそれぞれの部会活動の状況の共有を行っています。

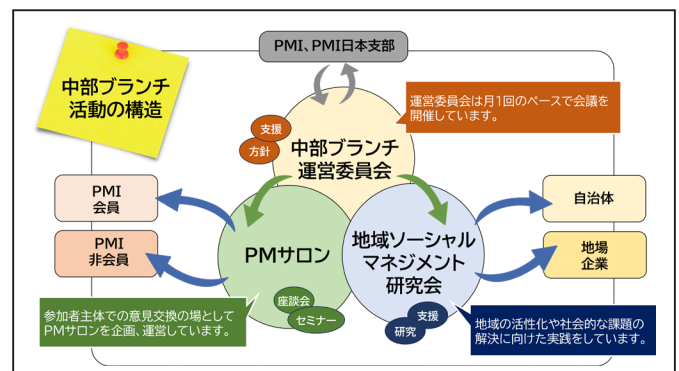
＜PMサロン＞

中部地区でのプロジェクトマネジメントのノウハウの交流

1. PMI 支部での地域活動

PMI 日本支部の活動は首都圏だけではなく、いくつかの地域においても積極的な活動を展開しています。それらの活動は地域サービス委員会で支部全体の活動との連携や地域間の整合性や調整などをとりながら、それぞれの地域が主体的に活動できるような枠組みで取り組んでいます。現在は、会員のみが参加できるブランチャに加えて、非会員の方々にも参加いただけるコミュニティが4地域あります。

中部ブランチャの活動イメージ



Best Practice and Competence/PM事例・知識

■中部ブランチャ創立10周年記念セミナー 結果報告

と人材育成を目的として、特別セミナーの開催や、参加者主体で意見交換のできるサロン形式のイベントも企画、運営しています。

＜地域ソーシャルマネジメント研究会＞

地域活性化や社会課題の解決に向けて、プロジェクトマネジメントがどのように貢献できるかを考え実践をする研究会です。地方自治体のSDGs活動サポートや地場企業へのマネジメント支援を実施しています。

2. 中部ブランチャ創立10周年イベントの企画の立ち上げ

2015年の発足から、2周年記念（会場：名古屋大学病院）、5周年記念（オンライン開催）を経て、中部ブランチャは2025年に10周年を迎えることとなりました。

5周年記念が新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンライン配信のみの開催となったこともあり、この10周年記念に関しては、これまでの活動に関わった方々、そして、ご支援をいただいた方々へ感謝の思いを改めてお伝えしたいということがブランチャ内の総意でした。

この総意を受けて、ブランチャ内で10周年記念の企画がスタートしました。既に関西ブランチャが2019年に大阪にて10周年記念イベントを実施していたため、その内容も支部の中で共有していただきながら、どのような内容にするかの検討を開始しました。

その結果として、中部地区を中心にプロジェクトの立ち上げやプロジェクトマネジメントの推進、そしてマネジメント人材の育成などを積極的に取り組んでおられる方々に講演をいただき、中部地域のプロジェクトマネージャーや次世代のマネージャー候補に少しでも自分たちのプロジェクトに活かせるノウハウや気づきを持ち帰っていただけるようセミナー形式での開催とすることとしました。

3. 会場ならびにセミナー講師の選定

企画内容が概ね決まってきた段階で、次は会場とセミナー講師を決める必要ができました。中部ブランチャの運営委員会には、東海国立大学機構名古屋大学の学術研究・産学官連携推進本部に所属されている沖原理沙氏がアクティブメンバーとして参画されており、最初に沖原氏に会場や講師について相談をさせていただきました。

名古屋大学様では2024年5月に学内のイノベーション拠点として、Tokai Open Innovation Complex（以下、TOIC）を設立されており、その設立の主旨である「産学交流、起業

活動、共同研究を連携して、支援することにより、企業やベンチャー、行政など多様なステークホルダーとの交流の場を創出し、新たなイノベーションの創出を実現する」が、まさに今回の私たちブランチャがお伝えしたいこと、そして今後、取り組んでいきたいことと合致していたため、そのTOICをセミナー会場にお借りすることとしました。

次はセミナー講師の選定ですが、私たちのねらいとして、可能であれば「産・官・学」の3つの領域からお話をしていただけるよう相談を開始しました。特に、今回は上記のとおり名古屋大学内のイノベーション拠点をお借りしてイベントを実施していくこともあり、名古屋大学様やTOICに関わる人物、団体、企業を中心に相談をさせていただくこととし、会場選定でもご協力いただいた沖原氏にも相談をさせていただきながら、冒頭にもある3名の講演者に登壇いただくこととなりました。

Tokai Open Innovation Complexの紹介



4. 中部ブランチャ創立10周年イベントの当日の様子と概要

セミナー当日の申込者総数は254人でした。そのうち、会場参加は

58人で、オンライン参加が156人です。名古屋大学TOICの会場はイノベーション拠点として立ち上げられただけに、単に机や椅子を均等に並べただけのレイアウトではなく、できる限り講演者と参加者の距離を無くし、会場が一体となったセミナーになるよう心掛けました。

それでは、当日の流れに沿って振り返っていききたいと思います。

(1) PMI日本支部の活動のご紹介

今回のセミナーはPMI日本支部の主催イベントではありません。

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■中部ブランチャ創立10周年記念セミナー 結果報告

ましたが、以下の団体から後援をいただくことができました。

- ・一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会様
- ・特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会様
- ・一般社団法人 日本ITストラテジスト協会様
- ・一般社団法人 IIBA 日本支部様

これらの団体や大学などの紹介でご参加いただいた方も多くいらっしゃいました。そのためセミナーの冒頭には「PMI 日本支部の紹介」として、PMI日本支部の歴史や活動など、お話をさせていただきました。

(2) 講演 1

田中秀孝様（名古屋大学非常勤講師）

『有人宇宙システム「きぼう」開発とプロジェクトを成功させるために』

～創発から開発、実践、社会実装へ～



最初の講演として、名古屋大学の田中先生からは、長年、携われてきた「きぼう」の開発事例も含めながら、「プロジェクトは成功させるためにある」として、成功への4つの壁、特有の要求事項やそれらを満たすための設計技術についてお話いただきました。そのお話の中で私が注目したのは、「プロジェクトキーポイント（PK）」です。そのPKの一例は以下のとおりです。

- ・プロジェクトの特性を把握する
- ・重要視するポイントを見極める
- ・特殊性に沿ったユーザフレンドリーを考える
- ・主要な技術と課題を洗い出す など

そしてそれらの開発を振り返り、今後の利用実践に向けた途と人材育成についてお話いただきました。宇宙システムの

開発は壮大でかけ離れた世界であると思いますが、私たちが日ごろ取り組んでいるプロジェクトにとっても重要なポイントが多く、それらがプロジェクトマネジメントの基本にあるのだなと実感できました。

(3) 講演 2

廣江紀之様（愛知県経済産業局）

『愛知発のイノベーション創出に向けた取り組み』



廣江様からは愛知県を中心とした取り組みについて仕組みや事例についてお話いただきました。最初にイノベーションの定義、そして愛知県がイノベーション創出に向けて、2024年10月に愛知県の鶴舞駅に開業した「STATION Ai」について、ねらいやイベント実績などをお話いただきました。また、イベント開催に留まらず、スタートアップ支援の拠点としての位置づけである「Aichi-Startup戦略」と、愛知発のイノベーションを絶え間なく創出していくための新たな仕組みである「革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-IDEA）」をご紹介いただきました。

私が印象深かったのは、後半で廣江様からお話いただいた2つのポイントです。

- ・「社会課題解決」×「官民共創」の可能性
- ・「社会課題」は民間企業と行政とのオープンイノベーションで解決に近づく

昨今のプロジェクトは1つのチーム、単独の企業などで「価値実現」をするには難しい局面が多くあります。様々な知見、視点を持った組織、人が集まり、それらを集結させていくことが、これからのマネジメントに求められることではないでしょうか。そういった点を再認識させていただいた講演でした。

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■中部ブランチャ創立10周年記念セミナー 結果報告

(4) 講演3

林衛様(株式会社アイ・ティ・イノベーション代表取締役社長)

「自律したITベンチャーの創造」

～ITベンチャー創業者として伝えたいこと～



林様の会社が名古屋大学TOICの会員であることと、林様自身が名古屋大学のOBであることから、今回の講演をお願いする発端となりました。講演テーマは「ITベンチャーの創造」となっていますが、これからベンチャー企業を立ち上げる方だけではなく、組織内での改革をしていきたいと思っている方にも向けた講演であったと思います。

講演としては、最初に林様の会社創業の時の想い、そして歴史をお話いただきました。そこにはグループのころとして「永續の哲学」があるとのことでした。(以下3点)

- ・お客様の要求を出発点として本質を追求する
- ・お客様との絆を大切にし、お客様に寄り添い、共に学び共に成長を目指す
- ・IT業界の変革と発展に貢献する

そして創業後の様々な苦境（リーマンショック、新型コロナ感染症など）を乗り越えた経験などを基に、経営者の視点に立って、「大切なこと」を参加者に伝えていただきました。

その中でも私の組織マネジメントの経験と照らし合わせると、「我慢強さ・しぶとさのこころを持つ」、そして、「人に対しては方向性、信じるこころ、やる気、持久力が重要である」、といったところに共感を覚えました。

(5) 中部ブランチャ活動紹介

今回のセミナーは中部ブランチャの創立10周年記念セミナーということで、参加いただく方々へ多くのインプットを持ち帰っていただくことを目的としておりますが、もう一つの目

的は、活動の仲間を増やすことです。

そのため、我々のブランチャ活動をより多く知っていただくため、少しでも時間をいただき、活動を紹介させていただきました。(活動内容は前述のとおり)

(6) 端山会長からのご挨拶

クロージングにはPMI日本支部の端山会長から以下のメッセージとともに、閉会の挨拶がありました。

「日本中でIT技術やデジタル技術との組み合わせが増え、その先にプロジェクトマネジメントの必要性が高まっている。その中でPMI日本支部、および中部ブランチャの拡大とともに、多くの方にプロジェクトマネジメントの理解と活用をしていただきたい」



会場来場者との集合写真、手のサインはTOICの「T」

5. 記念セミナー開催を振り返って

今回、私は企画側ではありましたが、個人的にもとても貴重で、有用なインプットをいただくことができました。今後は、それらのインプットをより価値の高いアウトプットにしていけるよう、ブランチャメンバーだけでなく、参加いただいた方、そしてこれからプロジェクトマネジメントに関わっていきたいと思っている方々とともに活動を膨らませていきたいと思っています。引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いします。

(追伸)

セミナー終了後には、学内のレストランで交流会を開催させていただきました。セミナーの熱気をそのまま継続して、とても活気のある交流の場となり、参加者の方々は食事とともに、満足いただけたのではと思います。

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■中部ブランチ創立10周年記念セミナー 結果報告



交流会での集合写真

PMI 日本支部 主催 PMI 日本フォーラム 2025 のご案内



公式サイト <https://pmi-japan.eventos.tokyo/web/portal/426/event/13268>

2025年7月12日～8月31日にわたり「PMI日本フォーラム2025」を開催いたします。

今年のPMI日本フォーラムは、「プロジェクトトランスフォーメーション ～次世代プロジェクトマネジメントの探求～」をテーマに新たなマネジメントスタイルに着目していきます。

新しい領域に挑んでいるフロントランナーから学びを得て、時代を切り拓くプロジェクトマネジメントを共に考えましょう。

PMIは変化に対応するためにプロジェクトマネジメントが重要であると言いつけてきました。コロナ以前から続くさまざまな社会課題が深刻化しているのに加え、トランプ政権の発足で先行き不透明の度合いが高まっています。久しぶりのインフレと賃上げ、金利上昇で大半の現役世代にとっては未体験の経済状況に突入しました。AIの効用も身近に迫りつ

つあり、不確実性と不安定性が高まる中で、我々はさまざまなプロジェクトを遂行していかなければなりません。

高齢の政治家や経営者は分かっているはずですが、この40年間でインフレ対策のノウハウが政府からも産業界からも失われています。過去から学ぶべきことはたくさんありますが、過去に回帰することはできず、未来に向かって創造性を発揮して、自分が直面する問題を解く方策を自ら編み出すしかありません。正解のない時代が現役世代に覚醒を求めています。

ご登壇いただく講演者の皆さま、フォーラム開催にご協力いただくスポンサー及び会員ボランティアの皆さまに深く感謝申し上げます。参加者、関係者の皆さまがそれぞれに信じるあるべき姿を目指して、変化に反応するだけでなく変化を先取りして好機に転換するために、PMI日本フォーラムが学び、考える場となると確信しております。

PMI日本フォーラム2025

プロジェクトトランスフォーメーション ～次世代プロジェクトマネジメントの探求～

開催形式	オンライン配信（リアルタイム、オンデマンド）、一部会場開催																																					
会場所在地	アキバプラザ 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトアキバプラザ アクセス： https://www.fsi.co.jp/akibaplaza/map.html																																					
日時と内容	▼基調・招待講演（12講演） - 会場開催 7月12日（土） 講演終了後に同じ会場内で交流会（18:15～20:00 予定）を開催します。 交流会は立食のビュッフェパーティ形式です。 - リアルタイム配信 7月12日（土）、13日（日） - オンデマンド配信 7月14日（月）～8月31日（日） ▼研究報告講演 <部会・法人スタディー・グループ>（46講演） <スポンサー>（6講演） - オンデマンド配信 7月14日（月）～8月31日（日） ▼アカデミック講演（7講演） - オンデマンド配信 7月14日（月）～8月31日（日）																																					
参加費	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">チケット種類</th><th rowspan="2">定員</th><th colspan="5">参加者区分（単位：円 税込み）</th></tr> <tr> <th>一般</th><th>企業法人 社員 スポンサー</th><th>日本支部 会員</th><th>（注1） 退職者 会員</th><th>（注2） 部会活動 アク ティブ メン バ―</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 7月12日（土） 会場参加＋交流会参加 ③のオンライン配信含む</td><td rowspan="2">100名</td><td>32,000</td><td>26,000</td><td>24,000</td><td>23,000</td><td>17,000</td></tr> <tr> <td>② 7月12日（土） 会場参加 ③のオンライン配信含む</td><td>30,000</td><td>24,000</td><td>22,000</td><td>21,000</td><td>15,000</td></tr> <tr> <td>③ 7月12日（土）～8月31日（日） オンライン配信</td><td>なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> （注1）「退職者会員」としてチケットを購入いただくには、PMI本部サイトでのMembershipの項目が「退職者会員＝Retiree」になっている必要があります。PMIに5年連続でIndividual会員となっている方が正式退職後にPMI本部にリクエスト（カスタマーケア経由で依頼）し、審査の結果、条件をみたしていた場合に「Retiree」に変更されます。 https://www.pmi.org/membership/faq （注2）「部会活動アクティブ・メンバー」とは、PMI日本支部の部会、法人スポンサースタディー・グループ、コミュニティから事務局に提出いただいた「アクティブ・メンバー」リストに掲載されている支部会員の方が対象となります。 まだ、日本支部会員でない方は、是非この機会に日本支部会員にご加入の上、参加ください。						チケット種類	定員	参加者区分（単位：円 税込み）					一般	企業法人 社員 スポンサー	日本支部 会員	（注1） 退職者 会員	（注2） 部会活動 アク ティブ メン バ―	① 7月12日（土） 会場参加＋交流会参加 ③のオンライン配信含む	100名	32,000	26,000	24,000	23,000	17,000	② 7月12日（土） 会場参加 ③のオンライン配信含む	30,000	24,000	22,000	21,000	15,000	③ 7月12日（土）～8月31日（日） オンライン配信	なし					
チケット種類	定員	参加者区分（単位：円 税込み）																																				
		一般	企業法人 社員 スポンサー	日本支部 会員	（注1） 退職者 会員	（注2） 部会活動 アク ティブ メン バ―																																
① 7月12日（土） 会場参加＋交流会参加 ③のオンライン配信含む	100名	32,000	26,000	24,000	23,000	17,000																																
② 7月12日（土） 会場参加 ③のオンライン配信含む		30,000	24,000	22,000	21,000	15,000																																
③ 7月12日（土）～8月31日（日） オンライン配信	なし																																					
お問合せ先	forum2025admin@pmi-japan.ne																																					

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■PMI日本フォーラム2025のご案内

■ プログラム構成

リアルタイム配信 *配信後はオンデマンドでも聴講できます

講演区分	配信日	講演番号	講演時刻	講演タイトル	講演者	所属組織
基調		M-01	10:00~11:00	Transforming Project Management with Generative AI : Unlocking Productivity and Leadership	Ike Nwankwo	The Chair of the PMI Board of Directors
招待	会場とリモートのハイブリッド配信 7月12日(土)	M-02	11:15~12:15	インクルーシブデザインにおけるプロジェクトマネジメント	平井 康之	九州大学 大学院 芸術工学研究院 教授
		M-03	13:15~14:15	「ITコーディネータ プロセスガイドライン」改訂の背景	野村 真実	特定非営利活動法人ITコーディネータ協会 会長
		M-04	14:30~15:30	未完の先へ	沢村 澄子	書家
		M-05	15:45~16:45	地方発！ベンチャー企業の成長&拡大戦略	久保 駿貴	株式会社ABABA 代表取締役社長
		M-06	17:00~18:00	持つべき『型』と社外に求める『型』 ～サービス業におけるIT資本投資～	齋藤 渉	総合警備保障株式会社 CIO 常務執行役員
			18:15~20:00 (予定)	会場にて交流会(会場参加申込者のみ)		
招待	リモート配信 7月13日(日)	M-07	10:00~11:00	メンタルヘルスケアにおけるAIと人のハイブリッドサポート	神谷 渉三	株式会社'mbesideyou 代表取締役社長
		M-08	11:15~12:15	働く人の幸せが組織を変える ～ウェルビーイングの力とは？～	島田 由香	株式会社YeeY 共同創業者/代表取締役
		M-09	13:15~14:15	ネガティブ・ケイパビリティおよびプロジェクトマネジメントが果たす役割	沢渡 あまね	あまねキャリア株式会社 代表取締役CEO
		M-10	14:30~15:30	トランスフォーメーションを牽引する：社内IT部門の変革ジャーニー	和田 昌之	富士通株式会社 SVP, Corporate Digital 本部 本部長
		M-11	15:45~16:45	プロジェクトマネジメント、イノベーション、ウェルネスでつなぐ天竺(インド)と日本の未来	Ashutosh Singh	一般社団法人パタンジャリ・ジャパン・ファウンデーション 代表理事&チーフ世話オフィサー
		M-12	17:00~18:00	マレーシアからの視点で見るグローバル教育&ビジネスと国際キャリア形成	石崎 浩之	マレーシアBrainstorm SEA, Inc. 創業者兼マネジングディレクター

オンデマンド配信 研究報告(部会、法人スポンサーSG)、フォーラムスポンサー、アカデミック

講演区分	配信日	講演番号	PMI日本支部での所属部会	講演タイトル	講演者	所属組織
研究報告	オンデマンド配信 7月14日(土)～8月31日(日)	G-01	アジャイル研究会	両利きの経営とプロジェクトを実現するMCP：複数事例の比較を通じた考察	中村 正伸	香川大学 ビジネススクール 教授
		G-02		2025年度アジャイルプロジェクトマネジメント 意識調査報告ー知識創造とワイズリーダーシップー	齊藤 毅	中京大学経営学部 准教授
		G-03	AI@Work	PM×AI ー進むAI活用、成功への道筋を掴む	井芹 薫	ボツシュ株式会社 サステナビリティ部 GM
		G-04		AIエージェントの最前線 ～AIプロジェクトにおける動向と科学的介護情報システム「Life」を元にした仮想プロジェクトでの活用検討	中島 洋行	明星大学経営学部 教授
		G-05		プロジェクトマネジメント領域におけるAIレベル定義とグローバル視点で拓く次世代プロジェクトマネジメント	成田 和弘	
		G-06		AIシステム開発プロジェクトにおける品質およびリスクマネジメント ～介護用AIカメラシステムを題材に～	武上 弥尋	日本アイ・ビー・エム株式会社 Certified Executive Project Manager
		G-07		【明日から使える】プロジェクト管理と人材管理への実践AI適用	渡邊 恒文	二宮町 副町長
		G-08		データドリブンなAIプロジェクトを多面的な観点で成功に導く	川田 米太郎	アパナード株式会社 グループマネージャー
		G-09		SDGsは「過ぎ去ったブーム」ではなく経営テーマ～経済価値と社会価値向上のためのSDGsとSDGsスタートアップ方法論～	内藤 睦博	株式会社ソシオネクスト シニアエンジニア
		G-10		『人的資本』のオーナーシップは自分自身～企業と個人の両立した価値向上のためのプロティアンキャリアとアジャイル型プロジェクトマネジメント～	三五 大輔	
		G-11		面白く、学びを深めるための3つの行動原理～偶然性、贈与、ネガティブ・ケイパビリティ～	今井 景子	
		G-12		多様性を力に変える！チームを「自走」させる7つのステップ	早川 浩司	
					一柳 晶子	
					栗野 哲兵	
					小林 功	enFaith.LLC CEO
					稲葉 涼太	TIS株式会社 エキスパート
					稲葉 涼太	TIS株式会社 エキスパート
					塙 隆善	ハナワ耕藝舎 代表
					月元 龍磨	株式会社マネーフォワード

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■PMI日本フォーラム2025のご案内

研究報告 オンデマンド 配信 7月14日(土) ～8月31日(日)	G-13	関西ブラン IT上流工程研究会	改革活動に取り組むプロジェクトマネジャーに必要な ビジネスアーキテクチャ思考 ～タレントトライアングルのBusiness Acumenを考える～	塩田 宏治	株式会社クリエビジョン 代表取締役	
	G-14	関西ブラン 医療プロジェクト マネジメント研究会	医療機器開発プロジェクトにおける プロジェクトマネジメントの挑戦	大瀬 浩司	HOYA(株) プログラムマネージャ	
				北川 活宏	Lotus Labo プロジェクトマネジャー	
	G-15		続・地域医療連携におけるプログラムマネジメント プログラムマネジャー特定における課題	本橋 智	ボストン・サイエンティフィックジャパン 株式会社 プロジェクトマネジャー	
				山本 智子	川崎医療福祉大学医療秘書学科 特任教授	
				藤井 新吾	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 人材育成委員会 主査	
	G-16		定期的PM事例研究 会	日本三百名山の挑戦で得た学びと仕事への効用	永田 真登里	シミック株式会社 プロジェクトマネジメント部 グループリーダー
					杉原 秀保	ニッセイ情報テクノロジー株式会社 公共年金事業部 主席コンサルタント
	G-17	関西ブラン PM創生研究会	未来のプロジェクトマネジメントを変える「起承転結人材モデル」	伊達 渡	パナソニックコネクスト株式会社 シニアエキスパート	
	G-18	関西ブラン プロジェクト マネジメント 実践研究会	生成AIと共に探求するショートケース開発の実践	大西 徹	ナレッジナッジ合同会社 代表社員	
	G-19		想定外の出来事(マネジメント予備)を突破するPMのリー ダーシップ(パワースキル)の発揮とEQ (Emotional Intelligent Quotient) 向上の検証！ ー ある日突然のガン告知「ステージ3」からの入院・全摘手術・ 治療対策の半年後に復活をめざす10Kmジョギングという挑戦 的プロジェクトの実践と教訓 ー	勝連 城二	PMイノベーションオフィス51 代表	
	G-20	ステークホルダー・ エンゲージメント研 究会	良好なステークホルダー・エンゲージメントに必要なスキルとは ～アンケート結果を踏まえたステークホルダーと互いの ウェルビーイングを尊重し合う関係構築の実例～	河南 美章	株式会社ミナミ 代表取締役	
	G-22	組織拡大委員会	PM基礎研修実施報告(その1) ～研修で用いた『教材と工夫』について、やったこと・ わかったこと・良かったこと・悪かったこと・次にやること～	鳥本 明男	グローリー株式会社	
	G-23		PM基礎研修実施報告(その2) ～研修で用いた『ツール』について、やったこと・わかったこと・ 良かったこと・悪かったこと・次にやること～	池口 真一	株式会社クオンティア	
	G-24		オンライン×リアルで実現！ 若手が活躍するコミュニケーション設計	鳥本 明男	グローリー株式会社	
	G-25		アートってプロジェクトなの？ ～アートPMIに関するPMoAの調査研究活動のご紹介～	楠川 達也	株式会社MSOL Digital アシスタントマネージャー	
				山口 逸平	株式会社エル・ティー・エス リンク 事業部長	
	G-26	組織的プロジェクト マネジメント研究会	組織目標達成や組織構築・運営に必要な ノウハウ(フレームワーク)を探る	齊藤 学	スカイライトコンサルティング株式会社 シニア マネジャー	
	G-27	中部ブラン PMサロン/セミナー	マネジメントサロン100名構想	田島 彰二	戦略PMオフィス 代表	
	G-28	はじめての プロジェクト マネジメント研究会	未来のPMIはここにいる！ ～はじめてのプロジェクトマネジメント研究会、始動～	中村 康司	三菱電機エンジニアリング株式会社	
				知久 忠晃	株式会社ビジョン・コンサルティング エンゲージメントマネージャー	
				池之上 誠司	株式会社 日立製作所 技師	
	G-29	PMO研究会	製造業PMOに求められるコミュニケーション力 ～変革を動かすスキルとふるまいをPMO実務ガイドから探る～	今井 景子	株式会社DTS プロジェクトリーダ	
	富田 寛			(株)リコー エキスパート		
	G-30	PMタレント コンピテンシー 研究会	PMOを組織に合わせてデザインする	森 紳太郎	INTLOOP株式会社 マネジャー	
	G-31		DX越しに見えてきた"Individual competency"の重要性	阿部 笑子	株式会社クレスコ マネージャー	
	G-32		今日のプロジェクト環境におけるPM力の強化： ～PMコンピテンシー向上ワークショップの事例～	神庭 弘年	株式会社クレスコ マネージャー	
	G-33		PMコンピテンシーの真価を引き出す ～個人と組織が共に成長する新しいアプローチ～	神庭 PM研究所 所長	リコーITソリューションズ株式会社 エグゼクティブプロジェクトマネージャー	
		島谷 健也		ビジネスコンピテンシー 代表		
	G-34	ビジネスアナリシス 研究会	ビジネスアナリシスは活用できる？ プロジェクトでよくある課題 や問題とビジネスアナリシス	仲宗根 朝哉	ビジネスアナリシス研究会 代表	
	姥山 直之			IT関係外資系会社 ロジスティクスマネジャー		
	大野 千代			株式会社日立アカデミー 主任L&Dプランナ		
	相馬 宏司			BOM 専業パッケージ開発会社		
	G-35			ビジネスアナリストとプロジェクト・マネジャーの協働戦略 ～成功するプロジェクトのための最適な役割分担を目指して～	遠矢 琉璃子	

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■PMI 日本フォーラム2025 のご案内

研究報告		G-36	標準推進委員会	「実務者のためのビジネスアナリシス：実務ガイド 第2版」の特徴と今後の展望	谷 徹也	損害保険ジャパン株式会社 グループリーダー	
		G-37		徹底解説 PMO実務ガイド ー 価値創造と顧客志向のPMO実践アプローチ ー	中谷 公巳	アクシスインターナショナル株式会社 代表取締役	
		G-38		徹底活用 プロセス群：実務ガイド ー 価値創造を導く実践的アプローチ ー	中谷 公巳	アクシスインターナショナル株式会社 代表取締役	
		G-39	ポートフォリオ／ プログラム研究会	上の人の言うことは全て正しいですか？ 自分で考えて動くことで得られる価値	山口 健	非公開 プロジェクトマネージャー	
		G-40		プログラムマネジメント 標準の概要およびP2Mとの比較 ～ブラックスワンの現れる世界で価値創造を見届ける～	柏村 象一郎	テクニカルジャパン株式会社	
	渡辺 敏之				ヘンリー戦略PM技術士事務所		
	アンリ 近藤		ピズフォリオ合同会社				
		G-41	行政コミュニティ	ほぼ 1 人情シス戦記 ～プロジェクトマネージャーは何の夢を見るべきか～	大前 良太		
		G-42		急務となった自治体職員の人材育成 ー自治体の現状を知り、 価値をだす事業を企画し実行する人材を育成するー	浦田 有佳里		
		G-43		プロジェクトマネジメントで行政に革新を！ ～次世代の行政組織に求められるプロジェクトマネジメントの価値提案～	渡辺 恵士朗	株式会社グローバル・パートナーズ・ テクノロジー 公共公益ユニット長	
		G-44	シニアコミュニティ	少子高齢化社会を活性化する多世代交流ネットワークの構築 (第3報) ～生成AIを活用したパターン・ランゲージの作成～	高橋 正憲	PMプロ有限会社 代表取締役	
		G-45			野尻 一紀	キンドリルジャパン・テクノロジーサービス 株式会社 プロジェクト・マネージャー	
		G-46	法人スポンサー・ ケース メソッドスタディ・ グループ	ケースメソッドを用いたプロジェクト・マネージャ育成法(実践編)	牛山 主計	日本ビジネスシステムズ株式会社 シニアエキスパート	
		G-47	法人スポンサー・ 人材育成スタディ・ グループ	プロジェクト・マネージャーに必要な「人間力」	最上 千佳子	株式会社ITプレナーズジャパン・ アジアパシフィック 取締役	
					後藤 紀子	TIS株式会社 チーフ	
	オンデマンド 配信	7月14日(土) ～8月31日(日)	S-01	フォーラム・ スポンサー	安易に混ぜるな！「とりあえずハイブリッド・アプローチで やってみよう」の危険性とその対処法	渡会 健	株式会社MSOL Digital アジャイルエバンジェリスト
			S-02		プロジェクトマネジメント選手名鑑 ～PM人材育成計画の作り方～	木村 俊文	株式会社マネジメントソリューションズ トレーニング事業部 マスタープロジェクトマネジメントコーチ
	鶴山 武士					プロジェクトマネジメントコーチ	
	横地 真吾					事業部長	
	S-03		あなたのプロジェクトマネジメントは時代に合っている？ ～お客様と進めるプロジェクトマネジメントの改善事例～	松本 隆	株式会社アイ・ティ・イノベーション コンサルタント		
	S-04		PJの成功に寄与するビジネスアナリシスアプローチの紹介	大井 悠	株式会社エル・ティー・エス ビジネスアナリスト		
	S-05		開発現場を盛り上げたらトラブル0になった件 ～エンジニアリングの力を引き出す、PMの秘策～	小林 稔夫	株式会社アジャイルウェア テクニカルセールス/Redmine エヴァンジェリスト		
	S-06	Organization Project Management ー R&DとSalesの連携によるField Researcherの活動 ー	中村 静香	テルモ株式会社 経営企画室 マネージャー			
アカデミック		A-01	教育国際化委員会	大学教育におけるPM教育の実態調査と授業実施事例	除村 健俊 脇谷 直子	サイバー大学 IT総合学部 教授 広島修道大学 経済科学部 教授	
		A-02		マネジメント教育における新しいパラダイム： 自律学習を支援するためのRAG型AIティーチングアシスタント ～プロジェクトマネジメント学習を支援する AIティーチングアシスタントの実装可能性～	大島 直樹	山口大学大学院 技術経営研究科 教授	
		A-03		PM教育プログラム認定機関GACとは	当麻 哲哉	慶応義塾大学大学院 SDM研究科 教授	
		A-04		地域共生に向けた産学連携教育	永山 忍	広島市立大学 副学長(学術・社会貢献)	
	児島 基司				NTTデータ中国 金融法人事業部 金融第一営業部		
		A-05		高専のアントレプレナーシップとスタートアップ ー 人材育成 プロジェクトGEARの展開 ー	内海 康雄	国立高等専門学校機構 GEAR総括リーダー	
		A-06		これからの時代の課題解決とネガティブ・ケイパビリティ ～クリエイティブコンフィデンスを養う～	森本 千佳子	東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科 准教授	
	A-07	PROJECT ATAMIを活用した教育の提案 ー アートプロジェクトのプロジェクトマネジメント視点からの分析 ー	三宅 由美子	第一工科大学 工学部 情報・AI・データサイエンス 学科(東京上野キャンパス) 教授			

上記の内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

次世代リーダーシップミーティング2025 開催結果報告

PMコミュニティ活性化委員会 池之上 誠司



日 程：2025年5月24日(土) 13:00-19:00

場 所：渋谷ソラストコンファレンス

参加者数：25名（参加者合計31名 ※6名事務局含む）

テ ー マ：若い世代のPMがPMI日本支部を使いたおせる方法を考えよう

アジェンダ：

時間	内容	講師	MC
13:00～13:05	諸注意、開会挨拶	端山 毅会長	石井
13:05～13:30	基調講演：PMI AP講演（日本語講演） PMI APの2025年度方針・活動事例	Yolanda Kim（リモート講演） PMI Asia Pacific	
13:30～13:50	基調を踏まえた質問会： PMI日本支部の活動の補足説明・質疑を含む	Yolanda Kim 森田公至 理事	石井
13:50～15:10	ワークショップ： 若い世代のPMがPMI日本支部を使いたおせる方法を 考えよう	池之上 誠司 PMコミュニティ活性化委員会	石井
15:10～16:20	（休憩）		
16:20～16:25	討議結果発表	池之上 誠司	石井
16:25～16:30	講評、連絡事項、記念撮影	端山会長	石井
16:30～17:00	解散、移動	徒歩15分	
17:00～19:00	懇親会（渋谷焼肉KINTAN）		杉原

◆はじめに

次世代リーダーシップミーティング（以下、次世代LM）は、新しく部会・研究会に参加した若手メンバーに対して、PMI本部や日本支部の戦略・方向性を共有すると共に、若手のニーズを把握し、より良い支部運営に繋げることを目的としています。

2024年に初めて開催し今年は2回目の開催となります。2024年の次世代LMは大変好評であり、ワークショップ「新しい活動の場を考えよう」で検討したアイデアである「は

じめてのPM研究会」が2025年2月に実際に研究会として発足しました。今年は「はじめてのPM研究会」からも多くの若手メンバーに参加いただきました。

次世代LM2025の開催にあたり、若手メンバーのニーズやアイデアをPMI日本支部や研究会・コミュニティ運営に活かせるようにワークショップや講演内容を検討し、開催を迎えることが出来ました。

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■次世代リーダーシップミーティング2025 開催結果報告

◆PMI AP 講演

PMI Asia PacificのYolanda Kimさんから、PMI AP 2025 年度方針・活動事例について講演いただきました。

初めにPMI Next戦略について説明がありました。PMIのミッションである「We maximize project success to elevate our world」を元に2024年の活動内容の報告がありました。具体的には、アジア各国のPMメンバーが集まる場の事例紹介があり、日本の事例ではPMI日本フォーラムが紹介されました。また、2024年に初めてRegion9で学生向けのケースコンペティションを実施したことの紹介があり、PMI APでは学生や若い世代のPMに向けた活動の支援している旨の報告がありました。

続いてPMIが2025年に発表したプロジェクト成功の定義である「Delivered value that was worth the effort and expense/労力とコストをかけるに値する価値を提供した」についての説明がありました。

具体的には、プロジェクトを完遂することだけでなく、どのような価値を提供しているかに目を向けることの重要性について説明がありました。

最後にアジア各国における活動計画や若手PMの活動内容について説明がありました。

講演後参加者から多くの質問があり、PMIの戦略やアジア各国の活動事例に対する関心の高さを感じました。

◆ワークショップ内容

ワークショップでは2つのテーマを元に4グループに分かれて実施しました。

1つめのテーマは「次世代PMの意見を集めてPMI日本支部に届けよう」です。このテーマでは、次世代PMの目線で、PMI日本支部でより活動したくなるようなアイデアを議論し、PMI日本支部に向けた提案内容をまとめる内容となっています。

2つ目のテーマは「研究会・コミュニティを進化させるためのアイデアを考えよう」です。このテーマでは、次世代PM目線で、各研究会・コミュニティをより進化させるための改善案やアイデアを議論し、各研究会・コミュニティに向けた提案内容をまとめる内容となっています。

いずれのテーマにおいても、ブレインストーミングでアイデアの検討を行い、親和図法を用いて現在の課題(As-Is)

を分析し、KPT法のフォーマットを用いて発表を行いました。

各グループの発表では、ユニークなキャッチフレーズを用いたアイデアや、すぐに取り入れられそうなアイデアなど多くのアイデアが出ました。発表後に他のグループメンバーからも多くのコメントがあり議論も活発に行われ、今年も大変な盛り上がりとなりました。



◆参加者からの声

アンケートの結果、参加者の9割以上が「大変良かった」と回答があり、今年も高評価をいただきました。

アンケートではPMIの活動内容の理解が上がった点など多くのコメントをいただきました。中でも若手PMでの交流が出来たことに対するコメントが多数あり、その内容の一部を抜粋します。

「部会活動以降、対面での接点が無く、不安が多かったですが運営の方もフレンドリーだった。

また、ワークショップでも意見が活発に出たことで普段の業務との視点や発想の違いについても学べました。」

「参加者の方と交流を深められ、話しやすくなったことから翌々日に合った定例会も普段とは違った感じで取り組む

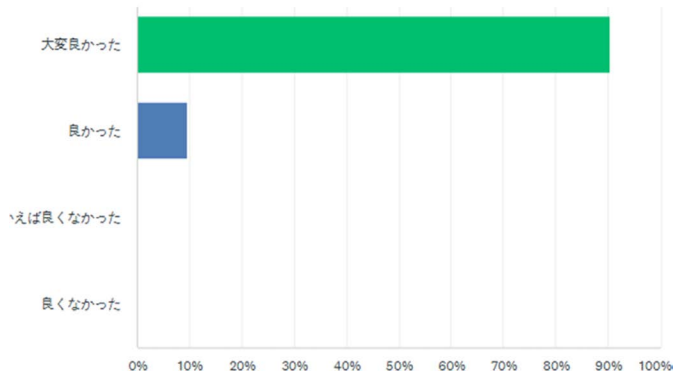
Best Practice and Competence/PM事例・知識

■次世代リーダーシップミーティング2025 開催結果報告

ことができました。」

「普段交流できない方々と交流が持てたことが一番の収穫でした。会の雰囲気も良く、気持ちよく交流できる場を提供いただいたことに感謝しています。」

次世代LM2025全体として、どう評価しますか。



◆総括

次世代PMの交流の場を設けることの重要性や、若手メンバー目線での考え方やニーズを取り入れることが、PMI日本支部にとっても大変意義深いと考えています。

次世代LM2025で出てきたアイデアを具体化できるように今後も活動を続けていきたいと考えています。

最後に、当日ご参加いただいた皆様、PMコミュニティ活性化委員会の皆様、そして次世代LMをご紹介いただきました各研究会・コミュニティの皆様に心より感謝申し上げます。



Stakeholders / 法人スポンサー紹介

株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック



急速に変化するビジネス環境、不確実性の高まる社会情勢、テクノロジーの進化——こうした環境のなかで、プロジェクトマネージャーに求められる役割も大きく変化しています。

PMBOK®第7版やPMI タレント・トライアングル™の刷新は、従来の計画重視型アプローチから、変化に柔軟に対応できるアジャイルな手法や、組織全体を巻き込んだ変革推進力の重要性を示しています。

その変化に対応するには、単なる手法の習得ではなく、組織全体の変革を推進できる実践力の獲得が不可欠です。

株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック（以下、ITプレナーズ）は、PMI の認定教育パートナー ATP（Authorized Training Partner）として、プロジェクトマネジメント実務者の継続的な学びと実践力向上を支援しています。

「ライトをつけて変革を促す」をミッションに掲げ、アジャイル手法の技術習得から組織変革のマインドセット醸成まで、現場で即活用できるスキル開発に特化。提供コースの多くがPDU対象のため、PMI資格の継続学習としてもご利用いただけます。

【PDU取得対象コース一覧】

<https://www.itpreneurs.co.jp/training/pdu/>

このページでは、継続学習に特におすすめしたいコースを、取得可能なPDU（Professional Development Unit）ポイントとともにご紹介します。

■アジャイル領域の研修

プロジェクトにアジャイルを取り入れる、もしくはすでに実践中でさらなる効果向上を目指す、どちらの場合にも、アジャイルの価値を発揮するためには、フレームワークへの深い理解とチーム全体のマインドセット変革が不可欠です。

ITプレナーズでは、基礎知識の体系的習得から実践的なチーム運営スキルまで、組織の導入段階に応じたアジャイル活用を支援します。

● EXIN Agile Scrum ファンデーション（14PDU）

アジャイルとスクラムの基礎を学び、認定資格の取得を目指す2日間のコース。アジャイルやスクラムの学習を始める方や、改めて学び直したい方に最適です。

● アジャイル・レストラン（4.5PDU）

レストラン運営をテーマにした、全業種・全職種向けの体験型ワークショップ。変化に柔軟に対応しながら、チームで改善を重ねるプロセスを通じて、アジャイルの本質を自然に体得できます。

■ Scrum.org™ のスクラム研修・認定資格

アジャイル導入において最も広く活用されているフレームワークが、スクラムです。

その実践力を本格的に身につけたい方向けに、スクラム共同開発者 Ken Schwaber 氏が設立した Scrum.org™ のトレーニングを提供中です。

「スクラムガイド」に忠実で体系的なカリキュラムと、演習中心の実践的な構成が特徴です。スクラムマスター認定資格の試験も日本語対応となり、より多くの方が挑戦しやすい環境が整いました。

● Professional Scrum Master™

プロフェッショナル・スクラムとスクラムマスターの責任を深く理解する、演習中心のインタラクティブなコース。2025年4月より日本語版試験の提供を開始しています。

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック

● Professional Scrum Master™ – Advanced

スクラムマスター経験1年以上の方向け。実際の現場課題を題材に、より高度なファシリテーション技術や組織変革アプローチを習得します。

● Professional Scrum Product Owner™

プロダクトオーナーの責任を理解すると共に、ビジネス戦略とプロダクト開発の連携方法を学び、プロダクト価値の向上に必要なスキルを習得するコース。

【登録不要！スクラムの理解度を気軽に試せる模擬試験】

受講前の理解度確認に最適なツールが、Scrum.org™のサイトで無料提供中です。

ぜひご自身やチームの腕試しにご活用ください。

<https://www.scrum.org/open-assessments/scrum-open-jp>

■ DX人材育成・組織変革の研修

DXを実現するには、ツールやテクノロジーの導入だけでなく、自律的に行動できる人材の育成と組織開発が不可欠です。

変化に強い組織をつくるため、変革推進力の育成から現場の業務改善まで、企業のニーズに応じた研修プログラムを提供しています。

● 壁を突破するための変革マネジメント（7PDU）

組織変革を阻む要因を5つの「壁」に見立て、具体的な対処法の習得を目指すワークショップ。組織変革において、周囲を巻き込む実践力を養います。

● VSMワークショップ（6PDU）

業務フロー／プロセスを可視化する手法「Value Stream Mapping」を学ぶワークショップ。全体最適の視点で、業務変革を行うための手法とスキルを身につけます。

● ビジョン実践ワークショップ（7PDU）

組織全体のビジョン・ミッション・事業目標と、自チーム

の業務を結びつけ、現場としてのビジョンを策定する1日間のワークショップ。チーム単位でのご受講となります。

● フェニックスプロジェクト DevOpsシミュレーション研修

DevOpsで有名な書籍をベースに、ビジネス・開発・運用部門の協働と継続的改善を体験する研修。チームビルディングにも有用です。

■ YouTubeでセミナー動画を無料公開中！



ITプレナーズのYouTubeチャンネルでは、過去のセミナーアーカイブ動画や専門家による解説動画など、研修の予習・復習にも活用できるコンテンツを無料公開中です。ぜひチャンネル登録をお願いします。

【YouTubeチャンネル】

<https://youtube.com/@itpreneursjapan>

【お問い合わせ】

株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック

組織開発や人材育成、DX推進に関してお悩みの方、気になることがある方はお気軽にご相談ください。

● ウェブサイト：

<https://www.itpreneurs.co.jp/>

● お問い合わせフォーム：

<https://www.itpreneurs.co.jp/contact-us/>

株式会社ワールドフェイマス

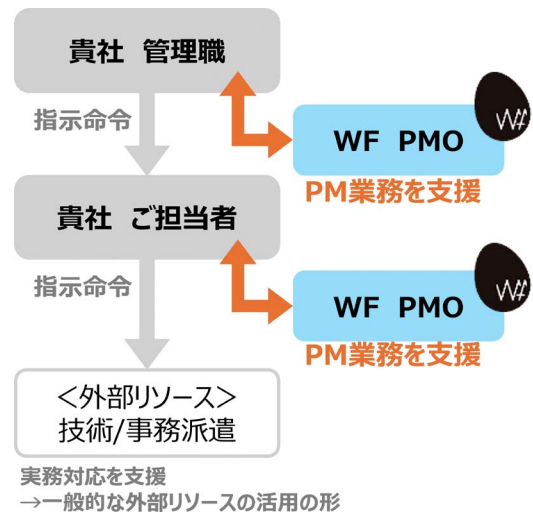


PMOを通して、「RaaS (Resource as a Service) を体現する」企業、ワールドフェイマス

当社ワールドフェイマスでは、RaaS (Resource as a Service)を体現すべく、クライアント企業の管理職やプロジェクトマネージャー（以下、PM）を支えるPMOパートナーとして現場に参画し、伴走型での業務支援を行っています。

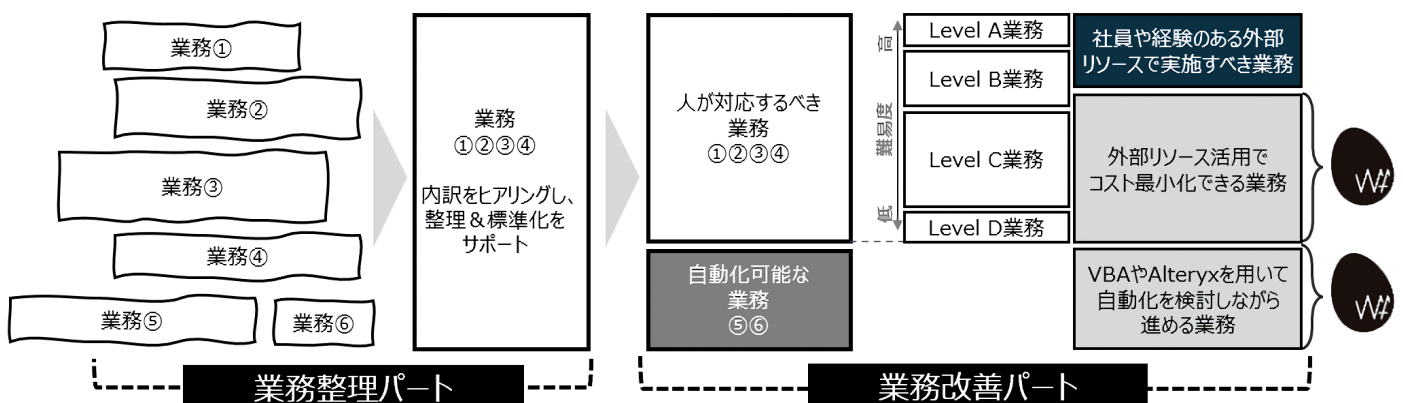
一般企業における外部リソースの活用は、主に技術派遣や事務派遣といった実務対応を目的とされることが多いと考えます。

当社は、資料作成や関係者との調整等に時間を取られがちな管理職やPMの皆さんの実務をPMOとして能動的に巻き取ることで、お客様の負荷軽減と業務効率向上に貢献します。



ボトムアップ型で一緒に伴走するパートナー

当社PMOは、実際の実務を理解した上で一緒に業務整理を行う、管理職・PMのパートナーとして寄り添います。経営層の指示に沿ってトップダウン型で課題解決をするのではなく、管理職・PMの皆さんの横について現場業務を行いながら、ボトムアップ型で業務整理・課題の可視化・改善策の立案を担います。



Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■株式会社ワールドフェイス

<事例：情シス部門へのPMOサービス>

～ご支援の成果～

- ・年間約588万円のコスト削減
- ・社員の管理工数、実働工数を大幅に削減
- ・上記に伴うDX推進活動が加速
- ・ワークフローを改善し手戻り等二次対応が大幅削減
- ・アウトソーシング体制構築により、運用体制が安定

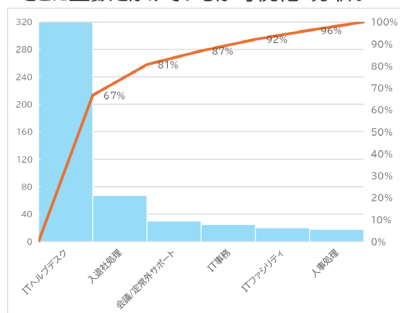
～ご支援に至った背景～

- ・人数が少ない情シス部門のエンジニアが、PCキッティングや社員対応といった実務に稼働を取られてしまっている
- ・それに伴い、本来実施すべきDX化推進等に稼働を割けていない
- ・社員補強をしたいが、事業部が優先され、社員が情シス部門にアサインされない

～ご支援内容～

01 現状整理

現状の業務整理を行い、業務において一番どこに工数をかけているか可視化・分析。



02 解決策の提案と実行



分析結果より解決策を提案。本事例では業務のアウトソーシングを最適化手段として選択したため、RFP発出、委託先の選定・交渉、社内稟議の承認を得るための資料作成のサポートまでを対応。

03 業務の仕分けと整理



アウトソーシングの委託先への業務引継ぎをスムーズに進めるため、業務の仕分けと整理を実施してマニュアル・業務フローの精査を行うなど、立ち上がりまでをサポート。

■人間力＝PMO力と位置づけた、PMO人財育成の取り組み

当社では、冰山モデルを人財育成に重ね、目に見えやすい専門知識や資格、業務効率化などのスキルだけでなく、その根幹にある「目には見えないが、より大きく本質的な部分」を「人間力＝PMO力」と捉え、それを大切に育むための教育コンテンツを充実させています。

また、一般的な企業では技術力を習得した後に、管理職昇

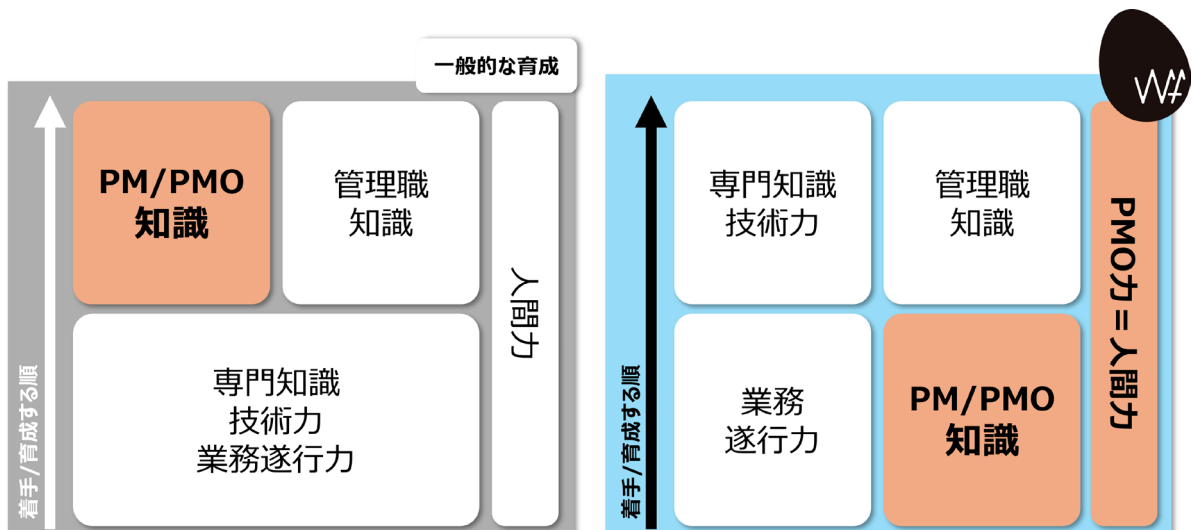
進のタイミングなどでプロジェクトマネジメント／PMOの知識を学ぶことが多い一方、当社では20代のうちから段階的にプロジェクトマネジメント／PMOの知識と経験を積ませています。

そうすることで、単なる実務担当者ではなく、早期から“プロジェクト全体を俯瞰し、能動的に改善できる人財”を育成することが可能となり、より高い価値提供が実現できると考えています。



Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■株式会社ワールドフェイマス



■現場から課題を抽出し、改善を進めるPMOの価値

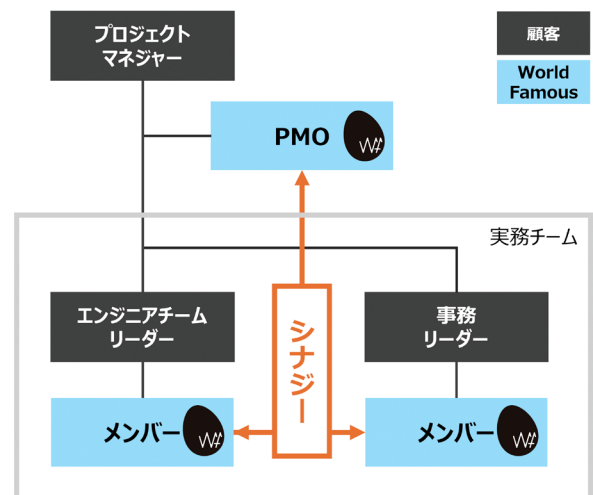
当社のPMOは、プロジェクトや現場に深く入り込み、業務課題を可視化・抽出し、解決に向けて主体的に行動します。その結果、管理職やPMが本来の業務に集中できるようになり、プロジェクト全体の推進力や成果品質が着実に向上していきます。このような積み重ねを可能にするのがPMOの存在であり、プロジェクトの生産性向上に直結する重要な役割を当社PMOが担っていると考えます。

また、当社のPMOサービスは、プロジェクト単位での支援にとどまらず、クライアント企業内の業務負荷の高い管理職やPMに対する支援も含め、広義のPMO機能として柔軟に対応しています。

必要に応じてPMOに加え、技術エンジニアなどのメンバーとチームを組み、現場と一体となって支援を行うことも可能です。こうした「PMO×事務」・「PMO×エンジニア」の連携により、マネジメントと実行の両面からプロジェクトを力強く支えることが可能となります。

私たちは、多くの“プロジェクト”がより良い成果を生み出すよう、「人を通じて、社会を支える」RaaS (Resource as a Service) を実践しています。ご興味をお持ちいただけましたら、ぜひお気軽にご連絡ください。

イメージ図：PMOと実務チームとのシナジー



【お問い合わせ】

株式会社ワールドフェイマス

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋2-1-5
S-Glanz KUDAN BLD.2F

- 電話 : 03-6272-8103
- メール : info@world-famous.co.jp
- ウェブサイト : <https://world-famous.co.jp>

PM Calendar / PMカレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。

詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中・準備中】

■ PMI日本支部関連セミナー／ワークショップ

●【日本支部会員になっていない方限定】

支部紹介オリエンテーション

- 日時：6月25日(水) 18:30～20:30
- 形式：リモート開催
- 無料、2PDU

● 8月度月例セミナー

- 日時：8月22日(金) 9:30～18:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU

● 転ばぬ先の杖、

現場で使うためのリスク・マネジメント

- 日時：7月5日(土) 10:00～17:30
- 形式：会場開催
- 6PDU

● プログラムマネジメント実践ワークショップ

- 日時：9月12日(金) 9:30～18:00
- 形式：リモート開催
- 7PDU

■ PMI日本支部関連イベント

● PMI日本フォーラム 2025

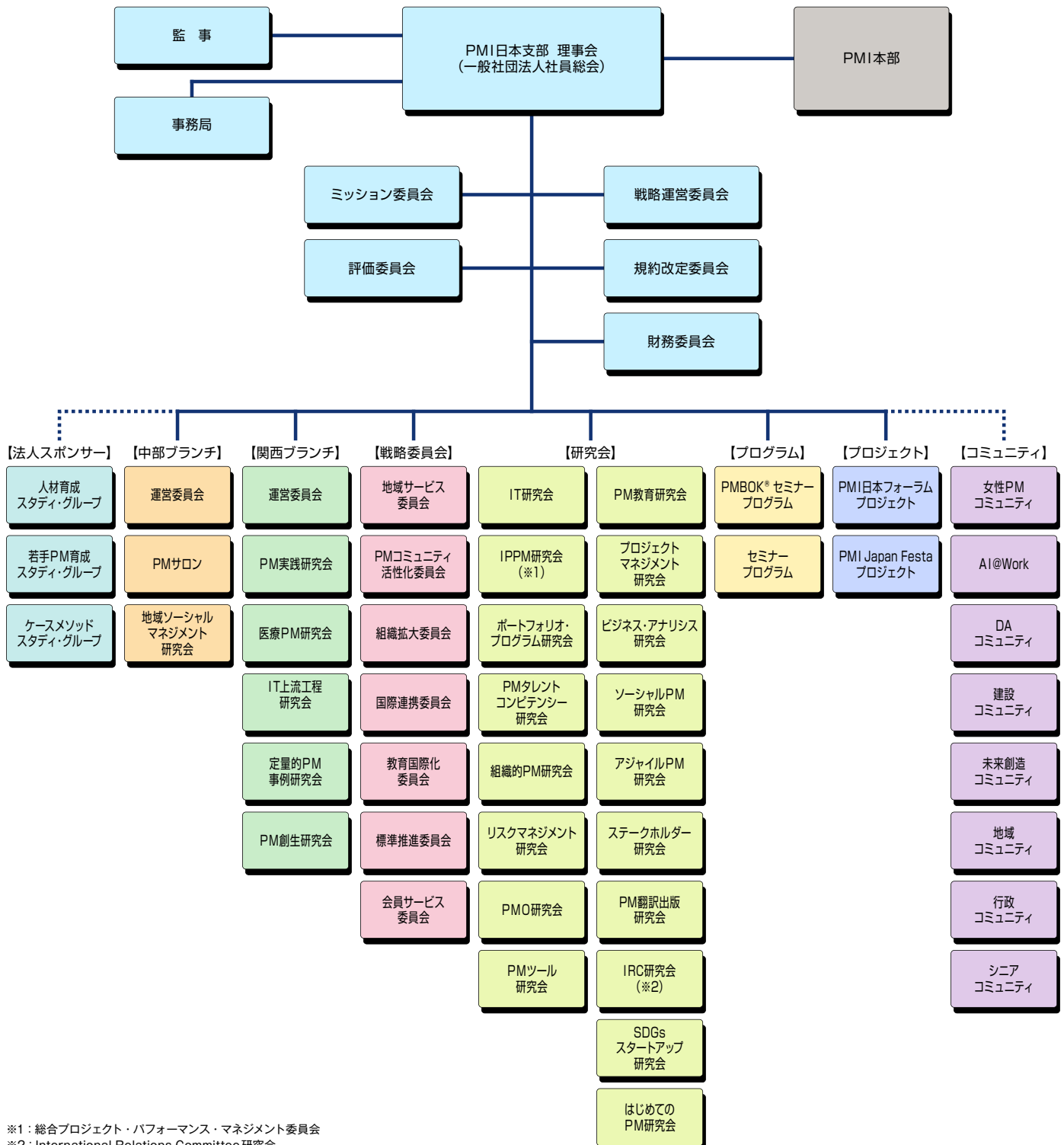
- 会場開催 : 7月12日(土)
- リアルタイム配信：7月12日(土)～13日(日)
- オンデマンド配信：8月末まで

*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

■ 支部活動 (2025年6月現在)



Fact Database / データベース

■ 理事一覧 (2025年6月現在)

会 長	端 山 毅	株式会社 NTT データグループ
副会長	麻 生 重 樹	日本電気株式会社
副会長	奥 澤 薫	KOLABO
副会長	中 村 亜 子	株式会社パーソル総合研究所
副会長	藤 井 新 吾	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
副会長	森 田 公 至	DXC テクノロジー・ジャパン株式会社

(以下、五十音順)

理 事	稲 葉 涼 太	TIS 株式会社
理 事	井 上 雅 裕	大正大学／芝浦工業大学
理 事	浦田有佳里	国立研究開発法人情報通信研究機構サイバーセキュリティ研究所
理 事	小川原陽子	日本アイ・ビー・エム株式会社
理 事	奥 田 智 洋	株式会社アイ・ティ・イノベーション
理 事	鬼 束 孝 則	Ridgelinez 株式会社
理 事	金子啓一郎	プロジェクト・ピープル・パフォーマンス研究所
理 事	斉 藤 学	スカイライト コンサルティング株式会社
理 事	坂 上 慶 子	株式会社 日立アカデミー
理 事	杉 原 秀 保	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
理 事	アンリ近藤	東京エレクトロン株式会社／ビズフォリオ合同会社
理 事	羽佐間一潮	日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ)
理 事	藤 原 慎	株式会社NTT データ先端技術
理 事	松 本 弘 明	株式会社ローソン銀行
理 事	水 井 悦 子	エンパワー・コンサルティング株式会社
理 事	山 本 智 子	川崎医療福祉大学
理 事	除 村 健 俊	サイバー大学／芝浦工業大学

■ 最新の会員・資格者情報 (2025年5月31日現在)

会員数 (人)	
PMI 本部	日本支部
748,280	6,958

PMP® 資格保有者数 (人)	
世界全体	日本在住
1,631,755	50,413

なお、日本や各国の PMI 認定資格者数は PMI 本部 Web サイトの Certification Registry でご覧いただけます。

<https://www.pmi.org/certifications/certification-resources/registry>

■ 行政スポンサー (2025年6月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市
- 広島県 福山市
- 広島県総務局 県庁情報システム担当

■ 法人スポンサー 一覧 (117社、順不同、2025年6月現在)

- TIS 株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- 株式会社インテック
- キヤノン I T ソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTT データグループ
- プラネット株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ヒューレット・パッカード合同会社
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- BIPROGY 株式会社
- JBCC 株式会社
- 株式会社パーソル総合研究所
- 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立アカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研 DCS 株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 三菱電機ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- 株式会社 N T T データ アイ
- 日鉄ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮グローバル株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- 株式会社 JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社 SI & C
- 住友電工情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社 TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS&A 株式会社
- ロジスティードソリューションズ株式会社
- SCSK 株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社
- SOMPO システムズ株式会社
- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS&AD システムズ株式会社
- リコージャパン株式会社
- SB テクノロジー株式会社
- 株式会社インテージテクノスフィア
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング
- 株式会社リクルート

Fact Database / データベース

- JFE システムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- ビジネスエンジニアリング株式会社
- 大日本印刷株式会社
- サイフォーマ株式会社
- 株式会社NTTデータ・ニューソン
- キーウェアソリューションズ株式会社
- NEC ソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社パスコ
- アベールソリューションズ株式会社
- エス・エー・エス株式会社
- 明治安田システム・テクノロジー株式会社
- テルモ株式会社
- TOPPAN エッジ株式会社
- ペルノックス株式会社
- キンドリルジャパン株式会社
- 株式会社ヒューマンテクノシステム
- 株式会社IT プレナーズジャパン・アジアパシフィック
- 富士電機株式会社
- KDDI 株式会社
- フラッグス株式会社
- 株式会社JQ
- 株式会社PE-BANK
- 三菱電機エンジニアリング株式会社
- Smartsheet Japan 株式会社
- アイエックス・ナレッジ株式会社
- AKKODiS コンサルティング株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ CCS
- キンドリルジャパン・テクノロジーサービス株式会社
- ネットワンシステムズ株式会社
- PM アソシエイツ株式会社
- Asana Japan 株式会社
- イノベーションフレームワークテクノロジー・プラニスウェア株式会社
- 株式会社ピーエスシー
- 株式会社ワールドフェイマス
- DXC テクノロジージャパン株式会社
- 株式会社SCC
- テクノシステム株式会社
- INTLOOP 株式会社
- 株式会社MSOL Digital

■ アカデミック・スポンサー 一覧 (55 教育機関、順不同、2025 年 6 月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院 芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学 経済科学部
- 北海道大学大学院 情報科学研究科
- 山口大学大学院 技術経営研究科
- 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 大学院情報科学研究科
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 大阪大学大学院 工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学 産学・地域共創センター
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究センター
- 北海道情報大学
- 山口大学 工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科 および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 飯島研究室
- 就実大学 経営学部 経営学科
- 神戸女子大学 家政学部家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 敷田研究室
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院 イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 生命機能科学研究センター
- 岡山大学 教育研究プログラム戦略本部 戦略的プログラム支援ユニット (URA)

Fact Database / データベース

- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人 国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室
- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 サービスシステムデザイン研究室
- 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部情報文化学科
- 地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター
- 中央大学 国際情報学部
- 福岡工業大学 情報工学部システムマネジメント学科
- 学校法人 角川ドワンゴ学園 経験学習部
- 第一工科大学 東京上野キャンパス
- 公立大学法人大阪 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター
- 東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科 森本研究室
- 名古屋工業大学 社会工学科 経営システム分野 瀧口研究室
- 日本経済大学 大学院経営学研究科
- 大正大学